

## 英語 (English )

担当教員名	松田 安隆	
学科・専攻、科目詳細	都市システム工学科 5年 前期 2単位 学修単位 講義	
学科のカリキュラム表	一般科目 必修科目	
共生システム工学の科目構成表	教養科目 外国語系	
学習・教育目標	共生システム工学	A-2(20%) B-1(30%) E-2(50%)
	JABEE基準1(1)	(a)(f)
科目の概要	グローバル化時代の技術者として必要な英語力をつけるために、英語の語彙力や読解力を向上させる。また、読解に必要な構文や文法の知識を身につける。	
テキスト(参考文献)	コンパクト英語構文90 (数研出版)	
履修上の注意	前もって配布された課題を確実にやってから授業に出ること。 日々の自宅学習によって英語力の向上に努めること。 理由なき遅刻や欠席で受験できなかった小テストは0点扱いとする。	
科目の達成目標	(1)英語の内容を読み取り、英文を書く練習を通して英文読解力や作文力をつける(学習教育目標 E-2)とともに必要な語彙力つける。 (2)付属CDを用いるなどしてヒアリング力や英語運用能力の向上をはかる。(学習教育目標 E-2) (3)現代社会に関する様々な題材を扱い、技術者として必要な国際性など、幅広い教養を身につける。(学習教育目標A-2・B-1)	
自己学習	英文雑誌およびインターネット等を通じて、継続的に異文化理解に有益な情報を収集し、英語の速読力の向上をはかる。 e-learningにより英語運用能力を向上させる。	
目標達成度(成績) の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合)	1/4以上の欠課
	<p>評価方法</p> <p>(1)定期試験(70%) (2)随時実施される課題(e-Learningによる課題を含む)・小テスト・平常の発表等(30%)</p> <p>(1)定期試験:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめた英文から必要な情報を速く的確に読み取ることができる。</li> <li>・伝えたいことを適切な英語で表現できる。</li> </ul> <p>(2)小テスト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な語彙を正しく使いこなせる。</li> </ul> <p>(3)e-Learning</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期限までに、十分な分量の英文演習を行える。</li> </ul> <p>この配分に基づく評価点が60点以上の者を合格とする</p>	
連絡先	matsuda@akashi.ac.jp	

授業の計画・内容
第1週 オリエンテーション、第1章 It中心の構文 It is ~ to ... 等
第2週 第2章 不定詞を含む構文 have something to do with ... 等
第3週 第2章 不定詞を含む構文 2 make O 原形不定詞 等
第4週 第3章 分詞を含む構文 S V C (分詞) 等
第5週 第3章 分詞を含む構文 2 Having spent, I ... (完了形の分詞構文) 等
第6週 第4章 動名詞を含む構文 remember ~ ing (~した覚えがある) 等
第7週 第5章 関係詞を含む構文 前置詞 + 関係代名詞 等
第8週 中間試験実施 前半のまとめ
第9週 中間試験の返却 第6章 否定構文 not ~ all (部分否定) 等
第10週 第7章 助動詞を含む構文 used to ~ (よく~したものだ) 等
第11週 第7章 助動詞を含む構文 may as well ~ (~したほうがよい) 等
第12週 第8章 仮定法を用いた構文 仮定法過去 等
第13週 第8章 仮定法を用いた構文 suggest that A ~
第14週 第9章 接続詞を含む構文 命令文 + and ~ (・・・しなさい、そうすれば~) 等
第15週 第9章 接続詞を含む構文 2 so that A can ~ (Aが~できるように) 等
期末試験